

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)													
ET46J026		産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)(Special Seminar in Industrial and Labor Psychology (Support Theory and Applications in Industry and Work					臨床心理学													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	2	1	教育学研究科	後期		氏名 岩野卓 E-mail iwano-suguru@oita-u.ac.jp 内線 6108														
授業の概要	産業保健心理学などの理論や働く人のメンタルヘルスに関する法令などを理解するとともに、働く人のストレスとメンタルヘルス問題、ストレスチェック制度、メンタルヘルス不調を予防するためのケアの方法、職場のメンタルヘルス対策や産業保健スタッフの役割などについて、最近の産業心理学的知見や資料をもとに考える。講義とグループ発表、討議などにより授業を進める。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	産業・労働分野における心理学の問題やメンタルヘルス問題の現状、実際について理解を深める																			
目標2	産業・労働分野で臨床心理活動を行うために求められるメンタルヘルスに関する理論や法令などを学ぶ																			
目標3	産業・労働分野で心理職として活動するための基本的な知識と実践的スキル、方法論を習得する																			
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	産業・労働心理学の役割・意義																			
2	産業・労働分野におけるメンタルヘルス問題																			
3	労働者のメンタルヘルスに関する法令と指針																			
4	過重労働と過労死、過労自殺、労災																			
5	ストレスチェック制度とその役割1																			
6	ストレスチェック制度とその役割2																			
7	職業性ストレスの理論・モデル																			
8	職業性ストレスと健康問題1																			
9	職業性ストレスと健康問題2																			
10	セルフケアとラインによるケア																			
11	産業保健スタッフのケアと役割1																			
12	産業保健スタッフのケアと役割2																			
13	職場のメンタルヘルス活動と多職種連携																			
14	職場のメンタルヘルス対策1																			
15	職場のメンタルヘルス対策2																			
ラーニングチェックポイント	A:知識の定着・確認	実際に研修の計画・実施を行う				工夫 その 他の														
	B:意見の表現・交換	模擬事例に対する対応計画作成の実施																		
	C:応用志向	模擬事例に対するロールプレイ																		
	D:知識の活用・創造																			
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	発表(模擬研修)内容の準備・打ち合わせ(10h)																		
	事後学修	模擬事例に対する対応計画作成(5h)																		
教科書	使用しない																			
参考書	島津明人編著(2016). 産業保健心理学 ナカニシヤ出版 島津明人・種市康太郎編(2016). 産業保健スタッフのためのセルフケア支援マニュアル 誠信書房 藤本 修著(2012). 職場のメンタルヘルス ミネルヴァ書房																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10								
	時間外学習	20%																		
	事例に対する対応計画作成	40%																		
	ロールプレイ	40%																		
注意事項	授業や発表、討議への積極的参加を期待する。																			
備考																				
リンク	URL																			

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	産業カウンセラー及び中央労働災害防止協会認定相談員としてEAPに勤務，
実務経験を いかした教 育内容	企業や就労者のニーズと産業臨床場面の現実について説明する